

講演番号が入りますので、空欄にしてください（インデント
タブ設定を変更しないでください。）

大気中親電子物質 1,2-ナフトキノンに対する細胞内活性イオウ分 子の防御的役割

○長崎 太郎¹, 医薬 花子¹, John May²
(¹長崎国際大・薬, ²ハウステンボス)

タイトルはゴシック体 (14 ポイント) で作成
してください。英文字は、Helvetica または
Arial をお願いします。行間は、16 ポイント
です。変更しないでください。

【目的】大気中親電子物質である 1,2-ナフトキノン (1,2-NQ) は細胞内において反応性シ
ステイン残基を有するセンサータンパク質と容易に共有結合を形成し、

【方法】ヒト気管上皮由来BEAS-2B細胞を用い、

【結果および考察】BEAS-2B細胞を1,2-NQに曝露した結果、

タイトル以外の所属・氏名及び本文は、明朝体 (12 ポイント)
で作成してください。英文字は、Times ないし Times New
Roman を使用してください。行間は、14 ポイントになってい
ますので、変更しないでください。

Role of reactive sulfur species in protection against 1,2-naphthoquinone-induced cytotoxicity in human bronchial epithelial BEAS-2B cells

○Taro Nagasaki, Hanako Iyaku¹, John May² (¹Fac. Pharmaceut. Sci., Nagasaki International Univ.,
²Grad. Sch. Pharmaceut. Sci., Huis Ten Bosch Univ.)

1,2-naphthoquinone is an atmospheric electrophile-----